

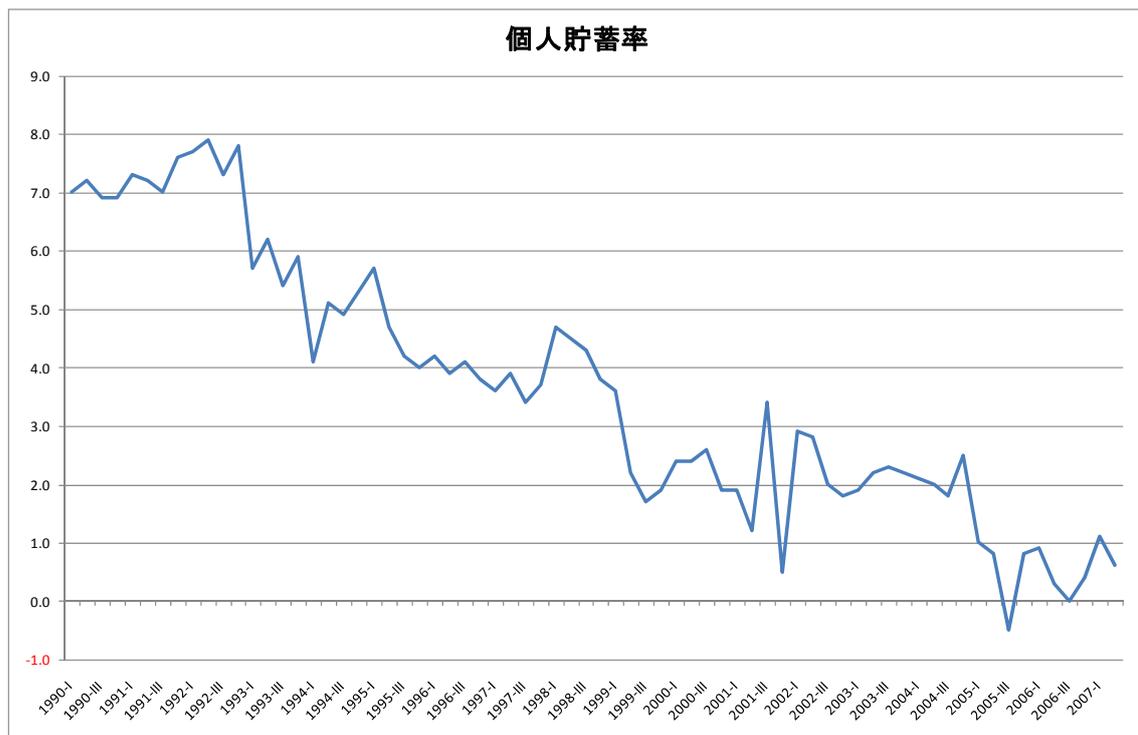
米国経済点描 (2007.08.1)

～ 個人貯蓄率は改定によりプラスへ ～

米国の個人貯蓄率は2005年4月以降マイナスに転落したものとされてきたが、7月31日に米国商務省経済分析局(BEA)が公表した「個人所得及び支出」(Personal Income and Outlays)の2004年からの改定値によって、この常識が覆された。

個人貯蓄率は1999年から2004年までは概ね2%前後、2005年から2006年はそれぞれ0.5%、0.6%、2007年以降は第I四半期が1.1%、第II四半期が0.6%とほぼゼロとあっていくらかの極めて低い水準ながら概ね世帯は黒字であった。

しかし、個人貯蓄額は個人所得から税と支出を差し引いて推計されており、かなりの誤差を含む系列として見ておく必要があるようだ。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル4F
 TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp